



# 窓乃梅酒造株式会社

日本酒、焼酎、リキュールなどの製造販売を行う。創業は1688年で300年以上の歴史を持つ佐賀県最古の酒蔵。近年はアジア、北米、欧州へ輸出を行っており、国内外で親しまれている

展開国・地域  
2013年 米国  
2014年 中国  
2017年 カナダ  
2018年 香港  
2019年 フランス

企業情報  
所在地: 佐賀県佐賀市 従業員数: 14名  
設立: 1918年11月 URL: <http://www.madonoume.co.jp>

事業内容  
日本酒、焼酎、リキュールなどの製造販売



- 1 フランス酒類見本市「サロンデュサケ」に佐賀県より11蔵が出展
- 2 フランスよりレストランシェフ、インポーターを招へい、商談
- 3 米国企業と商品開発したKASE SHOCHU
- 4 米国酒類販売企業社長のロバート氏



## 国内需要の落ち込みを察知し、海外へ

30年ほど前に国内の取引先を通じて米国から引き合いがあり、少量ですが輸出を行っていた歴史があります。清酒の国内需要は1940年代後半をピークに減少傾向にあり、国内人口減少が進む中、大きな回復は期待できません。需要拡大を海外市場に求めることはごく自然なことで、フランスのワインなど他国で国酒と呼ばれるものは総じて、国内需要の落ち込みを海外需要でカバーしていると認識しています。積極的に海外営業をするようになったのはおよそ6年前で、こちらも国内取引先を通じた米国からの引き合いがきっかけです。ジェットロが「新輸出大国コンソーシアム」などにより開催する商談会への参加をはじめ、積極的に営業を行うことで縁がつながり、米国のほか、中国、カナダ、香港、フランスと順調に輸出先を増やしています。今後は巨大市場である米国、中国に特に注目しています。いずれも沿岸部では日本食レストランを中心に日本の酒が浸透しつつありますが、内陸部はまだまだ開拓の余地があると考えております。

## 一期一会を心得、米国企業との商品開発へ

ジェットロの紹介で大分を訪問していた米国酒類販売企業社長のロバート氏が、知人を介し、佐賀の窓乃梅酒造に初めて訪れたのが2015年12月。この時、オーク樽に15年ほど貯蔵した麦焼酎をテイastingしたところ、大変感激した様子でした。ロバート氏はこの麦焼酎を米国全土に販売していくと決意し、自らが輸入者となるべく輸入ライセンスを取得しました。私どももロバート氏の熱意、行動力、将来性に共鳴し、米国での本格展開を決意しました。以後、計6回来日し、入念に打ち合わせの上、オリジナル商品KASE SHOCHUを開発し、2019年5月に1万本以上を米国へ初出荷しました。本商品は酒類鑑評会「San Francisco World Spirits Competition」において、パッケージデザイン部門では最高賞のダブルゴールド(※)を、テイasting部門ではゴールドを受賞し、米国でもデザイン、味ともに高い評価を受けています。ジェットロの展示商談会への参加などを予定しており、今後の展開が非常に楽しみな商品です。※焼酎のみならず日本産酒類においても初受賞の快挙。

## 拡販のために各国の展示会へ参加

佐賀県酒造組合会長として、佐賀県産酒類の海外展開にも力を入れています。本組合員25蔵のうち18蔵は輸出実績があり、その数量は年々増加しています。濃醇旨口な味わいが特徴で、英国の「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」やフランスの「クラマスタ」で最高賞を受賞するなど、佐賀酒の実力は世界でも認められています。近年は佐賀県酒造組合、さが県産品流通デザイン公社、ジェットロ佐賀が一丸となってフランスを中心に販路開拓活動を進めています。2018年10月にフランスの酒類見本市「サロンデュサケ」に11蔵が出展し、現地インポーター、シェフを発掘しました。翌年2月にフランスからインポーター、シェフなど計5名をジェットロが招へいし、県内7蔵を訪問いただき、視察、試飲、商談を各蔵で行いました。当蔵については、さまざまな料理と合わせやすい点が評価され、成約に至りました。今後もオール佐賀で海外販路拡大に取り組んで参ります。



代表取締役社長

古賀 醸治 氏

創業元禄 伝統と日本酒文化の花  
咲かせます

ジェットロ佐賀からの  
ポイント



300年を超える伝統とあくなき挑戦心を併せ持つ佐賀を代表する酒蔵です。社員の皆様の柔らかな人柄や、料理を選ばない酒質、OEM対応可能な柔軟な生産体制など、あらゆる面での懐の深さが、世界中のバイヤーを引きつけています。また、自社宛の引き合いを県内他社に紹介するなど、自社のみならず業界全体の将来を考え、行動している点も非常に魅力的です。今後もご縁に恵まれ、持ち前の伝統と、挑戦心と、懐の深さで世界中に愛される商品を提供し続けてもらえるよう、支援を継続していきます。